

競技上の注意事項

1 競技規則と競技方法

- 1) 本大会は平成 30 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会申し合わせ事項を適用する。
- 2) 競技方法は、泳力別に完泳を目指す『なんでもクラス』と、男女別及び障害区分別、各組タイムレースの『はばたきクラス』に分けて行う。
また、どちらのクラスでも、エントリーできる『オープンクラス』として 100m フリーリレーを実施する。
競技は「実施種目一覧表」の上から順番に行い、レースは女子から男子、障害区分番号順とする。
- 3) 「なんでもクラス」2種目、「はばたきクラス」1種目までとする。(但し、リレーは除く)

2 スタートについて

- 1) スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。
『オープンクラス』『はばたきクラス』では、**フォルススタートは失格とする。**
他選手がフォルススタートを行った場合でも、出発合図員の号砲にてスタートすること。
- 2) 区分番号 **8・9・11・13・14・15・17・18・19・22と、10分間泳**の選手は水中スタートをしなければならない。
- 3) プログラムの特記事項に「水ス」とついている選手は水中スタート。

※ スタートの方法

審判長の短い笛の合図で準備し、長い笛の合図でスタートの位置につく。

「用意」を待つ。

飛び込みスタートの時は、「用意」の合図の前にスタート台の前縁に足の指をかけて、待つことが好ましい。

※ 背泳ぎ以外で水中スタートするときは、短い笛の合図で、直ちに自コースもしくは近い方のプールサイドから入水し、自コース内に移動する。

ただし、同じ組で水中スタートと飛び込みスタートの選手がいる場合は短い笛と長い笛の間が空くので、飛び込みスタート選手はリラックスして待つこと。

※ 「Take your mark : テイク・ユア・マーク」(意味:用意) の合図をする。

3 競技時間

競技時間は、進行により変更する場合がありますので、各自進行状況に注意すること。
(進行が 30 分以上早くなった場合は、審判長の判断で時間を調整する)

4 棄権・訂正について

棄権・プログラムの訂正の受付は、招集所で行う。参加種目の変更や追加は一切認めない。
印刷ミスの場合は、競技開始 1 時間前までに招集所に申し出ること。

5 表彰

- 1) 表彰は、競技終了後直ちに表彰所(プールサイド)で、行う。100m フリーリレーの表彰のみ、体育館で行う。
- 2) 「なんでもクラス」は競技規則に従って、完泳出来たら者にメダルを授与する。
「オープンクラス」の 100m フリーリレーは全体の 1~3 位のチームにメダルを授与する。
「はばたきクラス」は各組の障害区分毎 1~3 位にメダルを授与する。
- 3) 記録証は参加者全員に発行する。(100m フリーリレーを除く)
各種目終了後、随時発行し記録証発行所(体育館内)にて配布する。

6 速報の掲示

速報は、体育館の入口付近の壁に掲示する。

7 ウォーミングアップについて

ウォーミングアップは、**9:15～9:40、午後の部競技前予定**(障害別にコースを振り分けて行う)に行う予定。ただし、競技進行上の都合により変更する場合がある。

8 監督者会議について

監督者会議は、9:00～9:15 に体育館内にて行う。

9 その他

- 1) 手話通訳者は、適宜配置する。
- 2) 選手の休憩・待機場所は、体育館とする。
- 3) 観覧・応援は2階プールギャラリーもしくは、プールサイド観覧エリア内を利用すること。
ただし、プールサイドは【土足厳禁】とし、関係者以外の方の出入りは禁止する。
また手荷物は、持ち込まないこと。
- 4) 更衣は、プールの更衣室を利用すること。ロッカー使用時は必ず100円硬貨により施錠すること。
(使用後、硬貨は返却されます)紛失等の責任は一切負わない。
- 5) プール用の貸出車椅子は、競技終了後速やかに返却のこと。

6) 写真撮影 及び ビデオ撮影は禁止する。

- 7) 大会における事故または傷病については、応急処置のみとする。
体調など各自自己管理すること。
- 8) 主催者が許可した報道機関等の撮影及び録音、ならびに放映及び放送について受け入れてください。また、冊子やセンターHP等への写真等の掲載について協力をお願いします。